

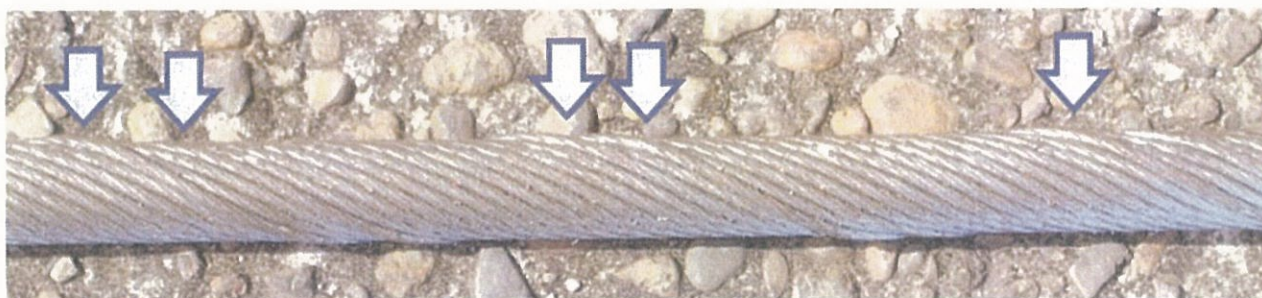
## 弊社大型クレーン車両搭載タフナフレックスワイヤーの不具合事例報告

この度、弊社大型クレーン車両に搭載していますウインチ用ワイヤー（タフナフレックスワイヤー）の市場不具合苦情があり不具合内容を下記に記載します。

発生原因と要因について記載していますので内容をご確認願います。

- 1・ 対象ロープ 型崩れしたタフナフレックスワイヤーロープ 400m×1本（24mm）
- 2・ 不具合内容

写真1. タフナフレックス主巻ワイヤーロープにストランド浮き



- 3・ 作業中に上記のようにワイヤーロープのストランドがワイヤー先端部より 227m～232m位置で発生しています。

ワイヤーロープ 400mの全体を確認したところ先端より 227m位置にワイヤーのカゴ状変形を確認しました。



### 写真2. カゴ状変形部位外観

ワイヤーのストランドが写真1のように飛び出した要因として、ワイヤーロープが写真2.カゴ状に変形したことでワイヤーにゆるみが生じ、その状態でワイヤー使用によりストランドが徐々に開きワイヤーのストランド飛び出しが発生したものです。

写真2.のワイヤーがカゴ状になった原因としてシーブ以外のところでワイヤーに曲げの力がかかっていた場合や強くシーブ以外にあたりが出ている状態でワイヤーがしごかれる場合に発生することが多く、ジブ使用時等のワイヤーを取りまわす時などに発生することが多くあります。

上記のようにワイヤーのストランド飛び出しが発生しないようにワイヤーの取扱いに注意して下さい。